

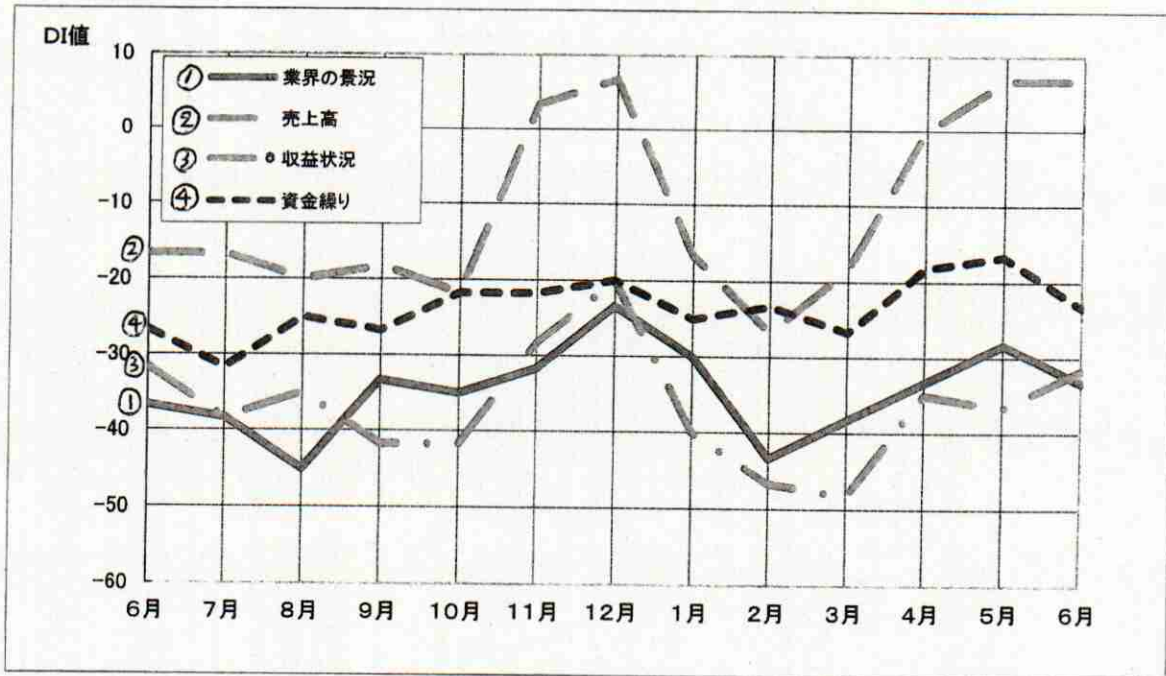
資料 新潟県中小企業団体中央会

中小企業団体情報連絡員調査(調査対象60組合・約3,000事業所)

I 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

令和3年6月～令和4年6月

単位:ポイント



	R3						R4						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
① 業界の景況	-36.7	-38.3	-45.0	-33.3	-35.0	-31.7	-23.3	-30.0	-43.3	-38.3	-33.3	-28.3	-33.3
② 売上高	-16.7	-16.7	-20.0	-18.3	-21.7	3.3	6.7	-16.7	-26.7	-18.3	0.0	6.7	6.7
③ 収益状況	-31.7	-38.3	-35.0	-41.7	-41.7	-28.3	-20.0	-40.0	-46.7	-48.3	-35.0	-36.7	-31.7
④ 資金繰り	-26.7	-31.7	-25.0	-26.7	-21.7	-21.7	-20.0	-25.0	-23.3	-26.7	-18.3	-16.7	-23.3

6月のDI値は前月と比べ、1項目改善、1項目不変、2項目悪化であった。「収益状況」DI値は5.0ポイント改善、「売上高」DI値は不変、「業界の景況」DI値は5.0ポイント、「資金繰り」DI値は6.6ポイントそれぞれ悪化した。

前年同月比においては3項目改善、1項目不変であった。「売上高」DI値は23.4ポイント、「業界の景況」DI値は3.4ポイント、「資金繰り」DI値は3.4ポイントそれぞれ改善し、「収益状況」DI値は不変となった。

連絡員からは、業種を問わず、各種原材料及びエネルギー等の価格高騰による影響が報告されている。

製造業では価格転嫁を進め販売価格の引上げ、それに伴い売上が増加している企業もある。しかし、それ以上に原材料の高騰、円安の進行、加えて公共料金や原油の値上りの問題が重なり、収益の回復は鈍い。業界によっては価格転嫁が難しい業界もあり、対応に差がでている。

非製造業では、商店街に人出が戻りつつあり、イベントも開催され始めている。しかし、商品の欠品や原材料の高騰から苦勞している。夏物商品の動きも出始めているが、新型コロナウイルス禍以前のような回復には至っていない。建設業では夏に向けて工事量の増加が見られるが、人員不足の影響を懸念している。

報告者名  
報告年月

新潟県中小企業団体中央会  
令和4年6月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、 企業経営・業界での問題点)	
製 造 業	食料品	漬物製造業 国内産の原料や資材、運送費の価格がじわじわと上がり続けている。この秋に新潟市西区近辺で栽培及び収穫予定の大根の契約単価の伸びは過去最高と見られる。更に円安の影響によりコストダウンの為に輸入原料が国産原料の仕入価格を超え始めて来ている。これらを違和感なく卸値に反映できていないというのが実状である。(新潟県漬物工業協同組合)	
	木材・木製品	製材業	今までにないほど忙しくさせて頂き本当に有難い。更に後半の話も出てきており、この時期ですでに年内目一杯程度の仕事の話を受けている。現場が多方面(魚沼、南魚沼、新潟市、見附、上越、湯沢、村上等)に出ているので近場の現場との兼ね合いをしっかりとしていかなければならない。様々なお話を頂戴しているので一つずつ確実にこなしていければ今後にもものすごく影響が出そうなので楽しみつつ、順番に動かしていく。(魚沼木材協同組合)
		建具製造業	徐々に仕事量は増えているが、小規模な工事が多い。仕入価格の上昇が止まらない為、製品に転嫁、販売価格が上昇してきている。(新潟市建具協同組合)
		製材業	原木も島内での需要も出てきた。地域材を利用した活動もありこの流れを持続させるために他団体と連携して動いていきたい。(佐渡木材工業協同組合)
	印刷	印刷業 資材関係だけでなく電力、エネルギー関係の高騰も今後の大きな懸念となっている。(新潟県印刷工業組合)	
	窯業・土石製品	生コン製造業	令和4年6月の生コン出荷量は前年同月比58.19%。令和4年6月累計は前年度比68.58%。(新潟生コンクリート協同組合)
		生コン製造業	4月～6月の出荷は、昨年対比125%以上で想定の数値を上回った。4月、5月は海岸工事、6月に入ってから朝日温海道路関連の工事が動き出したことによる出荷増で7月も同じと予想する。出荷は順調で売上も多いが、朝日温海道路は工事工期が長く、前年度、前々年度契約のため、仕入金額の上昇分を価格に転嫁できていないので収益は悪い。出荷が多くなる分、厳しい収益状況が続くと思われる。(北越生コンクリート協同組合)
		生コン製造業	令和4年6月の生コン出荷量は前年比138.0%、4月～6月までの3か月累計出荷量は、前年比165.3%となった。昨年は年度当初の出荷が伸びたが、年度を繰越した官民の大型物件の出荷が順調であることが大きな要因である。(長岡地区生コン事業協同組合)
	鉄鋼・金属	ハウスウェア製造業	企業間格差はあるものの、新型コロナウイルスの影響も落ち着きを見せ、売上も回復傾向にある。一方で、毎月のように材料価格の高騰が続く、収益悪化や先行きを懸念する声も聞かれる。(日本金属ハウスウェア工業組合)
		作業工具製造業	前年同月比では、全体として価格の引き上げにより売上高が伸びている企業もあるが、前年はその前の年の新型コロナウイルスによる大幅な落ち込みからの回復と、巣ごもり需要という要因があったため、今年の対前年比は勢いとしては鈍っている。また、依然として各種原材料の価格高騰と調達難は続いており、特に光熱費の高騰、さらに円安の進行も加わり、売上高に比例して収益が上がらない企業も多い。但し、一部作業工具などの輸出が好調な企業は円安により売上高は増加している。アウトドアや農作業、園芸用品関連の製造は引き続き順調であるが、肥料等はロシア・ウクライナ情勢の影響が出ており、品薄なものもある。ホームセンター向けは価格のせめぎあいがある。景気の先行きは、物価の上昇が消費者の購買意欲に影響が出ることを心配している。また、新型コロナウイルスの影響では、巣ごもり需要は完全に下火になり、ある意味影響は殆ど無くなって以前の状況に戻ってきていると見る企業もある。(三条中小企業共同工場協同組合連合会)

報告者名  
報告年月

新潟県中小企業団体中央会  
令和4年6月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、 企業経営・業界での問題点)	
製造業	鉄鋼・金属	<p>金属製品塗装業</p> <p>材料費や公共料金、その他全般に値上りしており、大変厳しい状況になっている。(新潟県鍍金工業組合)</p> <p>鉄骨製造業</p> <p>鋼材価格の値上げが止まらない。受注価格に鋼材の価格上昇分を十分に転嫁できず収益状況は厳しい状況が続いている。小規模工場で手持ち工事量に二極化が見られる。一部では、新型コロナウイルスの落ち着きをとらえ、慎重に経済活動を進める動きもみられる。(新潟県鉄骨工業組合)</p>	
	一般機器	機械器具製造業	<p>機械器具製造業</p> <p>当地域ではやっと新型コロナウイルス感染が落ち着いたかに見えたが、先月末からクラスターが発生し連日数人から10数人程度の新規感染者が出た。一部地域が中心なので感染が大幅に広がることはないと思っているが、要注意である。(十日町鉄工業協同組合)</p>
		機械器具製造業	<p>機械器具製造業</p> <p>ロシア・ウクライナ情勢が生産活動面で色々と悪影響を及ぼしている。そのような訳で先行き不透明感が増大している。(加茂鉄工業協同組合)</p>
		機械器具製造業	<p>機械器具製造業</p> <p>すべての材料が値上りしていること、金属(ニッケル、金)の高騰やロシア・ウクライナ情勢による影響が大きい原油などの高騰によるプラスチック材料の値上りが収益悪化に繋がっている中、値上り分を価格転嫁することは難しい状況にある。今後も電気料等の経費増があり見通しはわからない。また、材料の品不足により生産計画がたてられないことや受注が増加傾向にあり、設備操業度も高くなってきている。(上越鉄工協同組合)</p>
	非製造業	卸売業	<p>青果物卸売業</p> <p>業務納品環境も徐々に改善されている。卸の6月前年対比入荷で105%、キロ単価98%、卸売上104%を受け、仲卸組合の買上も104%となった。組合各店の業態内容により差はあるがほぼ前年以上の数字をあげている。(新潟青果卸売協同組合)</p>
			<p>花卉卸売業</p> <p>高温の影響で産地からの入荷が不安定であった。前半は葬儀が多かったが入荷減少により高単価で販売。後半は入荷が増えたが需要がなく、安値での販売となった。また、昨年は新型コロナウイルス禍でガーデニング需要が大きく伸びたが、今年は空梅雨で気温も高かったため、花苗類の販売は昨年対比で4割程減少した。総入荷数は昨年比93%、販売金額は96%であった。(新潟花き卸売協同組合)</p>
<p>袋セメント卸売業</p> <p>6月の出荷実績は前年同月比で93.4%であった。4月~6月累計出荷数も前年度比で99.7%と若干ではあるが減少に転じた。(新潟県袋セメント卸協同組合)</p>			
小売業		<p>化粧品小売業</p> <p>6月は、新型コロナウイルス感染が収まってきたことから、お客様の動きが出てきた。前年をクリアした所が多かった。しかし、2年前に比べると2割くらい下がっている。今までの積み重ねもあり経営は苦しい。ファンデーションの需要が始めている。第7波が来る可能性があるという事で、どのように影響するか注視したい。マスク生活が続くようなら、心配である。(新潟県化粧品小売協同組合)</p>	
	<p>自転車小売業</p> <p>令和4年6月の防犯登録は5,300枚。TSマーク250枚。(新潟県自転車軽自動車商協同組合)</p>		
	<p>スポーツ用品小売業</p> <p>繁忙期は大分落ち着いてきた。前月同様に品物欠品が続いている。別注ウェアなどの遅延も発生している。売上のずれが続いている。(新潟県スポーツ用品小売商協同組合)</p>		
商店街	<p>加茂市</p> <p>暑さが続き、夏物商品の動きが出てきた様子。しかしまだまだ新型コロナウイルス禍前の様な動きには至っていない。財布の紐がまだ堅い様である。スタンプ売上も前年クリア出来ず。(加茂市商店街協同組合)</p>		
	<p>上越市</p> <p>ゆめカード販売売上高は前年同月比91.30%。駐車場利用売上高は前年同月比132.92%。(上越市本町四丁目商店街振興組合)</p>		

情報連絡一覧票

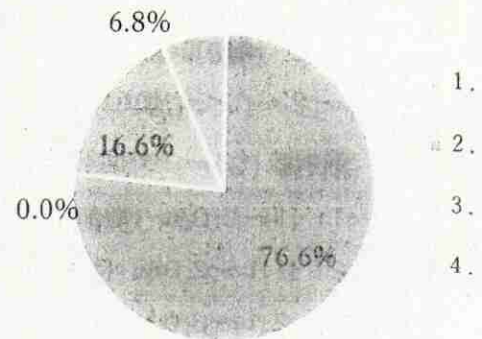
集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、 企業経営・業界での問題点）
商店街	長岡市	映画「峠」の公開に合わせ、河井継之助をテーマにした歩行者天国を開催したところ予想を超えるにぎわいとなった。飲食店の客数も戻りつつあり新型コロナウイルスの影響は回復しつつある。また、長岡まつりも開催されることから観光にも期待している。しかし、原材料高などの問題が大きくなり、全体としては厳しい状況が続いている。（長岡市商店街連合会）
	新潟市中央区	回復基調にはあるが鈍い。（新潟市上古町商店街振興組合）
	三条市	6月度は「売上高」で前年同月に対し増加の店舗7%、不変64%、減少29%、「収益状況」は好転0%、不変64%、悪化36%という状況で、昨年に比べて良かった店舗が若干少なく、また「スタンプの売上」は昨対104%、「スタンプの回収」は昨対113%で、スタンプ帳（1冊500円）を使用して買い物をされるお客様も昨年より多かったようだ。4月に撮影協力をした日本テレビの番組「はじめてのおつかい」が7月16日に全国放送される。当商店街のPRになると楽しみにしている。（協同組合一ノ木戸商店街）
サービス業	旅館・ホテル	県民割の影響で増加。会議等も少しずつ再開傾向である。（新潟県旅館ホテル生活衛生同業組合）
	洗濯業	料金改定も資材の高騰で追いつかない。（新潟県クリーニング生活衛生同業組合）
	広告業	イベント等は増えてきたと思う。屋外広告も人出に対して新設が増えてくると思う。節電に対応したLED関係も動きがあるはずだが、品薄である。（新潟県広告美術業協同組合）
	建設設計業	新規契約あり。前年同月比で累計75%の増額となった。（新潟県建築設計協同組合）
	ビルメンテナンス業	市の入札もほぼ終了し、県外業者の参入で入札価格の安価受注が見受けられる。最低賃金や材料費の価格が上がっているにもかかわらず、受注価格が3年前より下がっているものもあり、低価格入札における業界全体の人材確保の難しさ、品質低下等を懸念している。（新潟県ビル管理協同組合）
建設業	左官工事業	夏休みに向け工事量が増加しているが、人員不足が心配される。（新潟左官工事業協同組合）
	木造建築工事業	一部材料費、施工費の価格が高止まりしており、仕事が非常にやり難く必要経費が出ない。（上越住宅建築事業協同組合）
運輸業	貨物軽自動車運送業	毎月1回、事業説明の日を設定した。順調に毎月、説明に来られる。年齢も20歳台～60歳台、70歳台といろいろな年代の方がそれぞれの理由で個人事業主・独立を考えていると感じた。働き方が変わってきているのかもしれない。（赤帽新潟県軽自動車運送協同組合）
	一般乗用旅客自動車運送業	新潟県内全域においてタクシー需要は戻ってきている。前月同様、週末の夜間街に人出が戻って来てはいるが、まだ深夜遅くまで出歩く人はより少ない状況で、タクシー需要の本格的な回復には繋がっていない。新型コロナウイルス禍前の令和元年の実績と比較しても、7割台の需要であり新型コロナウイルス禍前の状況には至っていない。（一般社団法人新潟県ハイヤー・タクシー協会）
その他の非製造業	砂利採取業	骨材単価の値上げは浸透している。発注されている工事の着工が遅れていて、出荷の予定が立たない。（村上市岩船郡砂利協同組合）
	砂利採取業	令和4年6月度の骨材生産量は前年同月比で101.3%、1月から6月までの前年累計比で108.4%と数字上は増加、1月から6月までの前々年累計比で102.4%とようやく同程度にまで回復した。今後も下半期としての状況を注視したい。引続き、先行きが不透明なロシア・ウクライナ情勢等による石油類をはじめとする原材料価格やエネルギーコスト等の上昇が適切に価格転嫁できるか心配である。（長岡砂利採取販売協同組合）

## II 中小企業の価格転嫁状況についての追加調査（7月実施）

令和4年4月実施の全国中央会「中小企業の価格転嫁状況」の調査以降、原材料・資材等の高騰が続いていることから、令和4年7月現在の「中小企業の価格転嫁状況」について新潟県中央会独自に追加調査を行ったもの。

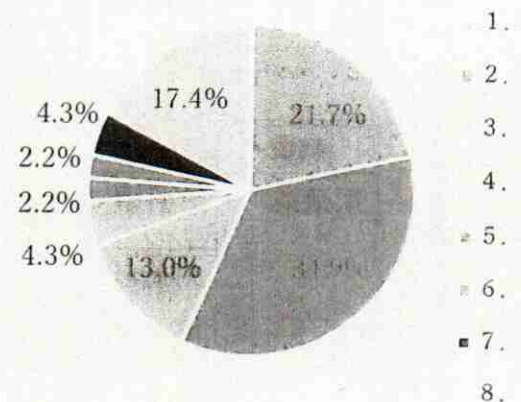
### 1-1 現在の仕入（原価）価格の状況について（1年前対比）

選択肢	回答数	割合
1. 上昇した	46	76.6%
2. 低下した	0	0%
3. 変わらない	10	16.6%
4. 業種柄、価格変動の影響なし (対象外)	4	6.8%
合計	60	100%



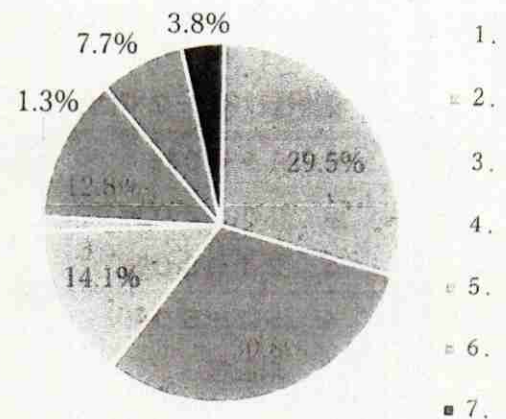
### 1-2 1年前の仕入価格に対する上昇の割合(%)等

選択肢	回答数	割合
1. 1～10%	10	21.7%
2. 11～20%	16	34.9%
3. 21～30%	6	13.0%
4. 31～40%	2	4.3%
5. 41～50%	1	2.2%
6. 61～70%	1	2.2%
7. 71%以上	2	4.3%
8. 未回答	8	17.4%
合計※回答分のみ	46	100%



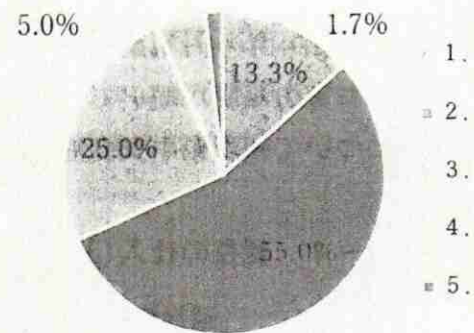
## 2 販売価格への転嫁状況

選択肢	回答数 (複数回答)	割合
1. 価格引上げ（転嫁）に成功した	23	29.5%
2. 価格引き上げの交渉中	24	30.8%
3. これから引上げ交渉を行う予定	11	14.1%
4. 価格を引下げた（またはその予定）	1	1.3%
5. 対応未定	10	12.8%
6. 業種柄、価格変動の影響を受けない（対象外）	6	7.7%
7. 未回答	3	3.8%
合計	78	100%



### 3-1 収益、利益への影響（本調査時点における1年前対比）

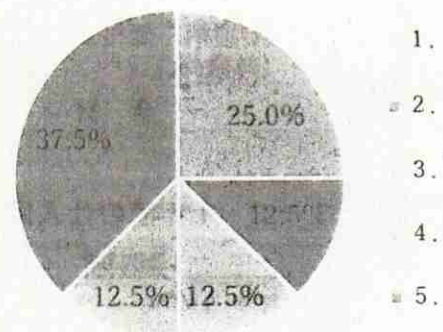
選択肢	回答数	割合
1. 増加した	8	13.3%
2. 減少した	33	55.0%
3. 変わらない	15	25.0%
4. 業種柄、価格変動の影響なし (対象外)	3	5.0%
5. 未回答	1	1.7%
合計	60	100%



### 3-2 増加又は減少した割合（%）等の現状と今後の見通し

#### 3-2-1 <増加の割合>

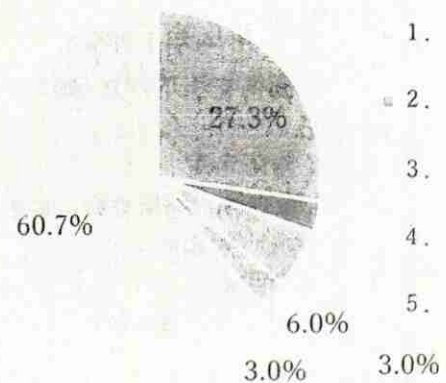
選択肢（3-1で回答1の選択者）	回答数	割合
1. 1～10%（増加）	2	25.0%
2. 11～20%（増加）	1	12.5%
3. 21～30%（増加）	1	12.5%
4. 40～80%（増加）	1	12.5%
5. 未回答	3	37.5%
合計	8	100%



業種	今後の見通し（選択肢1を選択・増加した）
製造業	8月頃に再度値上げの情報があるため現状よりも減少する可能性がある。
	対前年では増加したが、今後も原材料費の値上りと供給不足が続いた場合は、収益は厳しい状況になると思われる
	今後の見通し不透明。原油高、電気料金高、円安ドル高などで、今後 または工具、その他諸々が値上がりしないか不安。
非製造業	10～20%上昇さらに10%以上、上昇の予定。
	価格を上げた分、骨材単価が上がった。

#### 3-2-2 <減少の割合>

選択肢（3-2で回答2の選択者）	回答数	割合
1. 1～10%	9	27.3%
2. 11～20%	1	3.0%
3. 21～30%	2	6.0%
4. 51～60%	1	3.0%
5. 未回答	20	60.7%
合計	33	100%



製造業	包装資材など固定の経費が上がったので、利益が出ている会社でも単純に利幅は落ちている。割合は未知数。
	価格転嫁済や、価格交渉中であるが、今後再度の価格交渉を実施しなければならない。現段階で価格設定が難しい。
	正当な値上げを認めてもらうよう交渉するしかない。
	出荷量が減少している傾向が下げ止まらない。
	価格転嫁と収益増加は必ずしも一致しないが増加するよう、交渉を続ける。
	仕入が上がっているのに転嫁できないものが多く出荷している現状、官公庁の単価が上がらなければこの現状が続く。
	減少した要因は、年度当初分の出荷分について、前年度契約価格に伴うことが要因となっており、現在は新価格で出荷しており、利益は改善する見通しとなっている。
	加工業のため、薬品等の材料費が値上りしているため減少している。
	ダウン幅は縮小していくと思われる。
	各社様々である。(多業種あり)。今後の見通しとしてはさらに厳しいと考えている。
	先行き不透明。
非製造業	欠品の部品が多く完成品の出荷が遅れて、売上が減少すると思われる。
	為替の円安が進んでいる事から更なる仕入価格の上昇が予想される。
	今後、燃料・資材・人件費等経費の大幅な上昇が予想される。併せて物価上昇の中、厳しい特売要請が予想される。
	値上げにより消費が伸びず停滞気味。
	吸収出来る限界までやる。
	その他の諸経費も上がっているため、利益は減っている。
	値上げ額100%を認めてもらうことはないので、収益の減少に繋がる。
	今後も厳しいと思われる。
	燃料高騰の間、利益の減少が続くものと思われます。
原油を始めとするエネルギー価格や鋼材を含めた原材料費が高騰し、長期化する懸念がある。前年同期と比較し、7%程度の影響(負担増)になっている。	